

平成 27 年度 事業 報告 書

特定非営利活動法人 WE21 ジャパンこうほく

1 事業の成果

昨年 3 月、認定 NPO 法人を取得し、2015 年度は認定 NPO 法人としての活動がおこなわれた一年目でした。ホームページや会報などで情報開示し、みなし寄付金制度を活用して、国外・国内への支援額を増やし、現地を訪問して学ぶツアーの実施や、これまでできなかった規模での報告会の実施など、支援事業を充実させることができました。

リユース・リサイクル事業は 外壁掲示板の設置、店内のレイアウト変更や空気清浄器の設置など、買い物しやすい環境作りにつとめました。

アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業は 現地を訪れたメンバーやプロジェクト実施団体からの事業報告を共有することを大切にしました。ふくしまツアーには 24 名が参加し、「チョコ募金の集い」は WE21 ジャパン・グループの 7 地域 NPO の協賛を得て 120 人が参加する報告会ができました。

地域 NPO との連携・協働が進み、これまで以上に活動の幅をひろげることができるようになりました。

2 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

I. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1) ショップ事業

(1) 大倉山店

- ・内 容 リユース・チャリティショップ運営
- ・日 時 通年 営業日数 275 日
- ・場 所 横浜市港北区大豆戸町 6 0- 1
- ・従事者人員 ショップマネージャー 2 人 ボランティアスタッフ延べ 756 人 年度登録者数 31 人
- ・受益対象者 市民 主に港北区南部・鶴見区
- ・寄付件数 2,940 件
- ・事業高 9,072,793 円

(2) 日吉店

- ・内 容 リユース・チャリティショップ運営
- ・日 時 通年 営業日数 276 日
- ・場 所 横浜市港北区日吉 2- 1 2- 7
- ・従事者人員 ショップマネージャー 3 人 ボランティアスタッフ延べ 827 人 年度登録者数 31 人
- ・受益対象者 市民 主に港北区北部・川崎市
- ・寄付件数 2,120 件
- ・事業高 7,265,308 円

2) 環境活動 両店でガラス陶器のリサイクルなど行いました。

3) リメイク活動

3つのリメイクチームが、販売できなかった寄付品等を利用してリメイク活動を行いました。

II. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業（民際協力事業）

収益からの支援額については 運営委員会で支援検討会を開催し、決定しました。

総支援額 2,231,104 円

1) 海外支援 合計 1,845,843 円

(1) 農村地域女性の自立支援を目的とする DRCS (Development Research Communication and Services Centre) の既存プロジェクトの追加活動

・実施団体 インド NGO DRCS (Development Research Communication and Services Centre)

・プロジェクトの対象となる地域及び人々

インド西ベンガル州の南 24 パルガナス県(パトールプロティマ地区)及びハウラー県(バグナン地区)

両地域合わせて 10 村 30 の自助グループ、計およそ 400 人

・支援額 320,000 円

・プロジェクトの概要

貧しい農村地域の女性たちが、自らの権利を知り、生活向上に関わる知識や技術を身につけ、健康的に暮らせるために、様々な研修の機会を提供しています。インド政府が進めるスキームの理解促進、商品パッケージやケーシ織や薬草加工の技術向上を目指しています。女性たちは、行政への申請もできるように、またケーシ織の生産・販売を計画的に行えるようになりました。

・水害復興支援

支援地の 1 地区が、2015 年 7 月に発生したサイクロンにより洪水被害を受けたため、復興支援として 10,000 円を寄付しました。

(2) タナオコミュンにおける子どもの人身売買・児童労働防止事業

・実施団体 認定 NPO 法人 国際子ども権利センター (シーライツ)

・プロジェクトの対象となる地域及び人々

カンボジアスバイリエン州コンボンロー郡タナオコミュン 11 村の子どもと家族、および教員

・支援額 363,275 円 (収益金から 352,590 円、同期間中の店頭募金 10,685 円)

・プロジェクトの概要

ベトナム国境に近いタナオコミュンにおいて、児童労働や人身売買の被害から子どもたちを守るべく、子どもたちとその親双方にこどもの権利と教育の重要性について啓蒙活動を行っています。また被害にあった子どもが再び学校に戻れるよう支援しています。5 年計画の 2 年度。子どものリーダー (ピアエドゥケーター) の養成、英語やクメール語教室の開催などにコミュニティーセンターが活用されています。

(3) タナオコミュンにおける生計向上支援によるエンパワーメント事業

・実施団体 カンボジア NGO CAE (The Center for Actions towards Equality)

・プロジェクトの対象となる地域及び人々

カンボジアスバイリエン州コンボンロー郡タナオコミュン 248 世帯 (2015.8 現在、加入者は増加中)

・支援額 268,474 円(収益金から 252,590 円、同期間中の店頭募金 15,884 円)

・プロジェクトの概要

前項 (2) で述べた事業の推進に地域住民の生計の安定は不可欠です。地域で育った農民代表たちによ

り結成された農業組合が十分に機能し地域住民の生活向上につながるよう、サポートしています。住民の組織化、人材育成、行政や外部組織とのネットワーク構築などが主な活動です。2015年は、新たに設置された精米所のおかげで、精米の品質が上がっています。

(4) コーヒーの森づくり・アグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティづくり

・実施団体 フィリピン NGO コーディリエラ・グリーン・ネットワーク(CGN)

・プロジェクトの対象となる地域及び人々

フィリピンコーディリエラ山岳地方ベンゲット州トゥブライ郡アンバサダー村コロス集落 (33 世帯)

・支援額 410,000 円

・プロジェクトの概要

台風被害により森林が失われた地域に現金収入となる作物を混栽することで、森林再生・防災・生活向上の実現を目指しています。ベンゲット州バギオ市を中心に活動する NGO・CGN と共同で、アグロフォレストリーモデル農場の拡大、植樹地のメンテナンスを行いました。コーヒー豆を収穫できた受益者も現れ始めています。トゥブライ郡がコーヒー栽培を奨励しており、コロス集落はモデル事業として他村からも見学に来るようになりました。

・台風復興支援

2015年10月にも台風「ランド」の被害を受けたため、復興のための支援金10,000円を送りました。

(5) 先住民族への地域ヘルスケアプロジェクト計画

・実施団体 シュントック財団

・プロジェクトの対象となる地域及び人々

フィリピンベンゲット州カパンガン郡サグボ地区ビリング村・アンボゴット村及びガダン地区ナモンアオ村・コピアス村

・支援額 0 円 (2014 年度支援金のプロジェクト)

・プロジェクトの概要

先住民族の暮らすベンゲット州山岳地帯にはライフラインが十分届いているとは言い難く、その中で病気の予防と母子健康促進のプログラムとして始まったプロジェクトが、代替保健技能の伝播や組織強化活動につながり今日に至っています。シュントック財団監督の元、住民組織同士が互いに助け合い、組織強化や連携が十分果たされるまでになりました。2015年度にて支援終了しました。

(6) ネパール大地震復興支援

・実施団体 「ネパールの村に小さな家をたてる会」

・プロジェクトの対象となる地域及び人々

ネパールにおいて、2015年4月25日に発生した大地震で家屋を失った被災者

・プロジェクトの概要

震災被災者向けの簡易住宅を建設します。日本の建築技術と知識を導入し、礎石や筋交いなどを記した図面とマニュアルを用意、現地でボランティアが組み上げる仕組みです。

・支援額 44,066 円

(7) チョコ募金キャンペーンを通じたイラク・シリア・福島支援

・実施団体 NPO 法人日本イラク医療支援ネットワーク(JIM- NET)

・プロジェクトの対象となる地域及び人々

イラクにおける小児がんの子どもたち、シリア難民妊産婦、内戦負傷者、イラク国内避難民、福島の子どもたち

・支援額 440,028 円 (チョコ募金 407,500 円、店頭募金 32,528 円)

・プロジェクトの概要

イラクの小児がんの子どもたちへの医療支援、イラクに逃れてきたシリア難民、妊産婦、子ども、内戦負傷者への義足の支援活動、イラク難民キャンプでの支援活動、福島の子どもたちを放射能から守る活動を行っています。

・プロジェクトへの理解と協力を募るため、WE21 ジャパングループの他地域 NPO とともに「チョコ募金の集い」を行って広く活動をアピールしました。(詳細後述)

2) 国内支援 合計 385,261 円

(1) 東日本大震災復興支援

・実施団体 NPO 法人日本イラク医療支援ネットワーク(JIM - NET)

・プロジェクトの対象となる地域及び人々 福島の子どもたち

・支援額 15,302 円 (すべて店頭募金)

・プロジェクトの概要

「放射能の見える化、検診、保養」を実施し福島の子どもたちを守る活動をしている地元の団体・個人を支援しています。

(2) 横浜山北リフレッシュプログラム

・実施団体 福島子ども・こらっせ神奈川

・プロジェクトの対象となる地域及び人々 檜葉町の子どもたち

・支援額 71,535 円 (収益より 10,000 円、店頭募金 19,535 円、ストラップ募金 42,000 円)

・プロジェクトの概要

福島に暮らす子どもたちが放射能を気にすることなく野外で存分に活動できる機会を提供しています。2015年8月3日～6日に檜葉町の小・中学生を神奈川県に招きました。

(3) ふくしまの子どもたちの心身のリフレッシュ事業

・実施団体 NPO 法人ふくしま支援・人と文化ネットワーク

・プロジェクトの対象となる地域及び人々 福島のこどもたち

・支援額 68,424 円 (すべて店頭基金)

・プロジェクトの概要

福島県外で実施されるリフレッシュプログラムに参加できない低年齢児や障がい児のために、福島県内でリフレッシュプログラムを実施し、子どもたちの感性や創造力を養う機会としました。

(4) 常総地域水害被害者支援

・実施団体 認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ たすけあいセンター「JUNTOS」

・プロジェクトの対象となる地域及び人々 茨城県常総市の水害被災者

・支援額 10,000 円

・プロジェクトの概要

鬼怒川堤防決壊により水害に遭った地域住民に対し、物資を届ける一方、被災者のためのセンターとして情報発信・被災者ニーズの調査・ボランティアコーディネートなどを行っています。

(5) 生活困窮者自立支援

・実施団体 寿支援者交流会（越冬闘争委員会）

・プロジェクトの対象となる地域及び人々 横浜市内の野宿生活者

・支援額 20,000 円

・プロジェクトの概要

野宿生活者への炊き出し、訪問活動、医療・法律・生活・労働の相談活動を行っています。

こうほくからは、支援金のほか、年間を通して衣類の援助も行いました。

(6) ベータ線放射能測定機器購入

・実施団体 認定 NPO 法人 いわき放射能市民測定室 たらちね

・プロジェクトの対象となる地域及び人々 いわき市及び原発事故被災地住民

・支援金 200,000 円

・プロジェクトの概要

内部被曝の防止・軽減を目的として、食品に内在する放射線量を地域住民の求めに応じて計測し、そのデータを提供しています。また、人体の全身放射線量の測定とデータ提供も行っています。2015年4月から新たにストロンチウム90やトリチウムの測定を開始しましたが、測定依頼の数が多く結果待ちに数か月を要しています。2台目の測定器購入を目的としたプロジェクトです。

3) キャンペーン

(1) 貧困なくそうキャンペーン 10月1日～17日に実施しました。

(2) 「3. 11を忘れない」キャンペーン

3. 11を風化させないために、7月・9月・11月のそれぞれ11日と、3月1日から11日にかけて、キャンペーンを行いました。

(3) チョコ募金キャンペーン 12月9日～2月13日

1月21日（木）新横浜のホールで120人規模の支援報告会と音楽の集いを開催しました。

4) フェアトレード品の販売による支援（金額は仕入れ額）

・ジンジャーティー	フィリピンゲットシュウ州カハパス・ダイコン・ランパダ	78,750 円
・カピタコ・コーヒー	フィリピンCGN	115,500 円
・オリーブ石鹸	パレスチナ・アシーラ女性組合	53,881 円
	計	248,131 円

III. この法人の事業の広報普及を図る事業

1) 会報の発行

6月(115号)、9月(116号)、12月(117号)、3月(118号)の計4回、会報を発行し、同時にホームページにも掲載しました。

2) ホームページの運営

ホームページを利用し、大倉山店・日吉店の企画案内や、報告会開催の告知等を随時行いました。

IV. 組織活動

1) 組織運営

(1) 会員 期首 58名 期末 58名 (加入7名、退会7名) 目標 60人

(2) 運営委員会 毎月開催し、10月からオブザーバーとして1名が加わり、全員が役割を担い、運営しました。

(3) スタッフ会議 7月・10月の2回開催しました。

(4) ショップ運営

ショップ体制 ショップマネージャー 大倉山店2人体制 日吉店3人体制

ボランティアスタッフ 大倉山店 31人、 日吉店 31人、 計 62人

2) 地域との交流

(1) 地域のイベントに参加し、地域との交流を深め活動をアピールしました。

・らくらく市 (らくらく市実行委員会主催) 5月17日(日) 菊名地区センター前庭

・ふるさと港北ふれあい祭り 10月17日(土) 新横浜駅前公園

・日吉フェスタ (日吉エイジ実行委員会主催) 10月3日(土) 慶応大学日吉キャンパス内

・小さなまちの小さな平和展 (同実行委員会主催) 3月7日(月)~12日(土) ギャラリーかれん

・イオンの「イエローレシートキャンペーン」に参加し、イオン駒岡店で13,300円分の物品寄付 (主に文具) を頂きました。これまで年間登録団体として寄付を受けてきましたが、今年度で終了します。

・10月26日(月) 生活クラブ福祉ユニットのメンバー14名が大倉山店を見学、その後WE21 ジャパン こうほくの活動を紹介しました。

・9月18日 (金) 日吉店前での生活クラブの新規会員募集活動に協力しました。

・エンガワ会に参加しました。6月より大倉山店近くに地域の諸団体で運営する地域交流拠点建設計画に参加しました。予定していた補助事業がなくなって計画が白紙になり、交流拠点建設は実現できませんでしたが、地域の市民活動団体との交流がすすんだことが成果でした。

・3月26日(土) 原発事故被災の語り部・猪狩弘之氏を招いた講演会 (ままとま主催) を後援し、40名超の方々と事故後5年経った被災地の現状を詳細に聞くことができました。

3) その他

認定NPO法人として2015年3月6日に認定され、認定NPO法人として活動した一年目です。公益性の高い団体として、情報公開・適正な運営に努めました。